

おーじとしずくとたなっちの あの町この村ぶらり旅

Vol.04 九度山町特集



町を愛する人たちの真心にふれる。

九度山町は和歌山県の東北部に位置し、北には紀の川が悠然と流れ、南には霊峰高野山がそびえる、豊かな自然と歴史遺産に恵まれた町です。平成16年7月には「紀伊山地の霊場と参詣道」として、町では弘法大師ゆかりの慈尊院(じそんいん)・丹生官省符神社(にうかんしょうぶじんじや)、そして高野山までの表参詣道である高野山町石道が世界遺産に登録されました。以来、多くの観光客が訪れています。

また、戦国の智将、真田幸村が隠棲していた真田庵もあり、毎年5月には町を挙げて、盛大に「真田まつり」を開催されます。

町の主要産業である農業面では、恵まれた地質と気候の中で生産される富有柿は、味も日持ちも良いので、確かな品質を誇っています。



九度山の恵み、大収穫祭!

毎年11月中旬、町民を中心として開催される大収穫祭は、富有柿の直売や、チャリティーオークション、柿の皮むき大会など、確かな品質を誇る九度山の富有柿をメインとしたイベント、スチージイベントなどが開催され、毎年多くの観光客で賑わいます。

九度山町へのアクセス

車の場合

- 「大阪・京都方面から」
- 吹田J.C
- 阪和自動車道・近畿自動車道
- ↓美原北IC(約25分)
- ↓国道309号(約50分)
- ↓国道371号(橋本市(約50分))
- ↓国道370号(九度山町(約10分))

電車の場合

JR新大阪駅から、地下鉄でなんば駅(約15分)。南海電鉄に乗り換え、南海高野線急行で橋本駅(約51分)、南海高野線(極楽橋行)に乗り換え、九度山駅へ。



キャンプや釣り、川遊びなら、県の名勝にも選ばれている玉川峡がオススメ。川沿いに建てられた、「さえもん(九度山町農林総合研修センター)」で軽食をとったり、地元産品を選んだり、キャンプ用品のレンタルも販売も。ぜひご利用くださいませ。



夏の風が吹いたら玉川峡で川遊び。

毎年4月から5月の上旬にかけて、町内の丹生川の約100メートルの川幅に、約150匹のこいのぼりがスイスイと泳ぎます。河川敷でバーベキューを楽しむので、ご家族や友人と風情を楽しみながらワイワイしてみては?



丹生川名物 初夏の風物詩。

町家の人形めぐりin九度山

毎年4月上旬～5月5日の「真田祭り」までの期間開催



毎年5月5日に行われる「真田まつり」に向けて、4月上旬から「町家の人形めぐり」を開催しています。

町内の民家、商店など約60軒を利用し、五月人形、雛人形、つるし雛、創作人形、自作甲冑など、自慢のお宝人形を、午前10時から午後4時まで玄関や店頭で展示。古いものでは、明治元年の貴重な人形もあるとか。入場料等は無料。

「九度山町住民クラブ」の方が主催しているこのイベントは、おもてなしの町づくりがテーマ。ご訪問頂いた方に人形を見学していただくだけでなく、そのお家の人が、その人形の故事を説明してくれます。

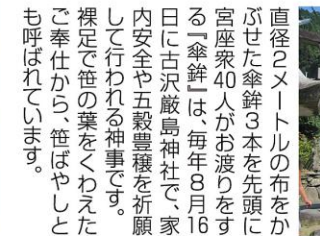


人と人とのふれあいを大切にしたい、どこか懐かしいような、ほっこりあたたかい気持ちになれるイベントなんだよ。春になったら、みんなで行こうね!



五穀豊穡願い、鬼が舞う。

毎年8月16日に行われる「推出鬼の舞(しいでおにのまじ)」とは、天災や悪疫の退散、五穀豊穡を願って奉納される推出殿島(しいでつくし)神社の伝統の神事。県の無形民俗文化財に指定され、髪色の赤い鬼が長い棒を振りかざし、太鼓や笛にあわせて舞い踊ります。



古沢殿島神社、傘鉾の夏はゆく。

直径2メートルの布をかぶせた傘鉾3本を先頭に宮座衆40人がお渡りをする「傘鉾」は、毎年8月16日に古沢殿島神社で、家内安全や五穀豊穡を祈願して行われる神事です。裸足で笹の葉をくわえたご奉仕から、笹ばやしとも呼ばれています。

戦国を駆けた英雄 真田家と九度山町

勇敢な真田十勇士に、 あなたも仲間入り?!

戦国動乱期に活躍した戦国武将、真田幸村。九度山町には、真田幸村とその父昌幸らが隠棲した屋敷があり、真田家の縁の地として知られています。

そんな町のイベントは、毎年5月5日に開催される「真田まつり」。かつて真田幸村が備えたという真っ赤な甲冑に身を包んだ武者たちが練り歩く武者行列を目当てに、道沿には毎年多くの観光客が訪れます。



じやーん!

真田十勇士

「真田十勇士」とは、真田幸村に仕えて活躍したという、忍者や豪傑、智恵者などバラエティーに富んだ家臣たちのこと。甲賀流忍者の猿飛佐助や伊賀流忍者の霧隠才蔵をはじめ、三好清海入道、三好伊三入道、穴山小助、由利鎌之助、寛十蔵、海野六郎、根津甚八、望月六郎の10名。

十勇士は小説などで生まれたフィクションですが、モデルになった実在の人物もいるとか。真田家が名を馳せた裏側には、立派な家臣たちの働きもあったのでしょね。



昌幸、幸村、大助以外の、真田十勇士と足軽10名は毎年般公募して行列に参加してもらって、そう。猿飛佐助や霧隠才蔵などになりきって、行列に参加したい方は、九度山町役場までお問い合わせを。

今回は特別に、新調されたばかりの真田大助の甲冑を着せていただきました。真田まつりで実際に使用するものどさう。軽量化されたとはいえ、すべてのパーツで約20キロ...とても重い。でも、実際に大助公が戦国時代に着ていたものは、もっと重かったに違いない。

幸村の甲冑は「そば処 幸村庵」に展示していますが、ほか2体は、真田まつりの時以外には、九度山町役場に保管されています。

さらに、幸村の真っ赤な甲冑を実際に作ってみようという「甲冑作り教室」も実施中。材料はボール紙ですが、とても立派で丈夫な仕上がり。完成したら、自分が作った甲冑を着て真田まつりの行列に参加しようという流れです。

こちらにも、詳しくは九度山町役場まで。

九度山町は真田家出生の地と知られる長野県上田市と姉妹都市提携し、情報交換や協力をあつめているのよ。上田市では「NHK大河ドラマ 日本のお兵衛 真田幸村」の制作放映実現の署名を力を入れているの。実現されるように、ワタシも協力しちゃおうわ。

主演俳優さんはイケメンが良いわ。



真田父子が隠棲した「真田庵」。

善名称院(せんみやうしょういん)ともいわれる真田庵は、真田父子が九度山町で隠棲していた屋敷跡に建てられた、春には美しい牡丹が咲き乱れるお寺です。

慶長5年、関ヶ原の合戦に敗れ、紀州に配流を命じられた真田父子。家族や家臣など、約百名を連れてこの地に辿り着きました。本来なら高野へ行くはずだったのですが、女人禁制などの問題があり、ふもど町である九度山に留まったのではないかと話です。

九度山での隠棲生活11年目、父昌幸はこの地で息を引き取りました。その4年後、幸村とその子大助は大阪城に入城、大坂冬の陣へと歴史は流れしていきます。

小勢力にすぎなかった真田家が大勢力の間を渡り歩きながら勢力を拡大し、あの徳川家康に刃向かえたのは、兵の大小だけでは考えられない知謀や策略、そして天文兵法や曆を上手く使ってきたから。真田家を絶やすまい! という強い想いを、この九度山の地で知り、真田庵に祀られている真田地主大権現に、その手を合わせるのです。

おーじ&しずくがオススメします! イチオシ真田グッズ紹介



ボクのオススメは、真田Tシャツだよ! 特にたなっちが持っているデザイン、胸に「兵」だよ。すっごくシブいよねっ!

ワタシのオススメは、真田鉄砲弾というお菓子よ。香ばしさとソースの甘辛さが絶妙で、一気にパリパリ食べちゃうわ! リースナブルでウマウマよ!

姉妹都市提携をしている長野県の名物である信州そばを、九度山町でも食べられるよう、平成22年11月3日にオープンした「そば処 幸村庵」。

この幸村庵のそば打ち職人たちは般公募で選ばれた方々で、長野県上田市でそばの技術や知識をしっかりと学びました。そば粉も当面は上田産のものを使用しつつも、ゆくゆくは町内で栽培に取り組んでいる原材料を使っていくという計画中。

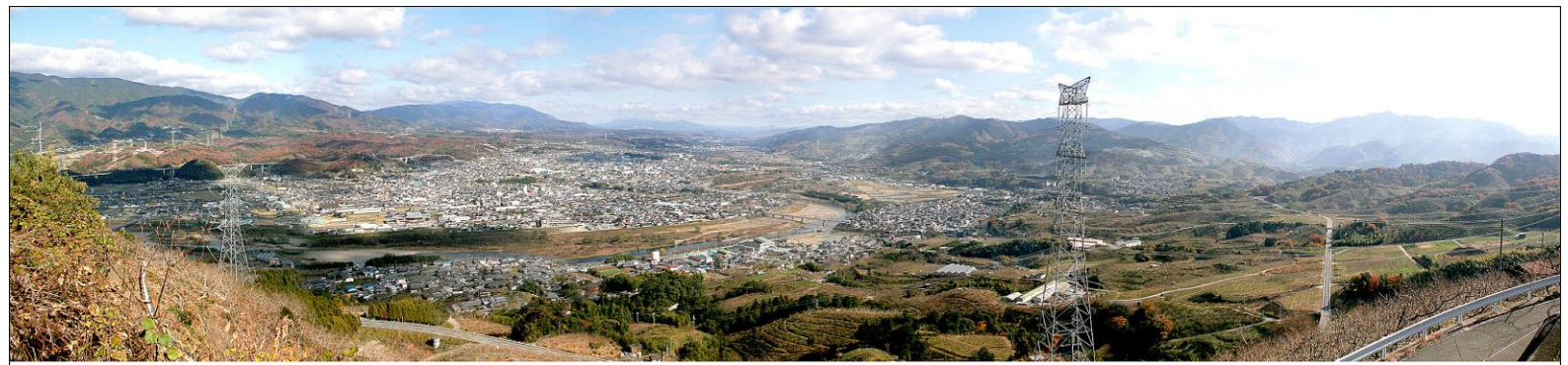
紀州九度山真田そばを新たな特産品にしていこうと、町ぐるみで力を入れているのです。

そばと天ぷら、柿の葉寿司と出し巻きたまごそして豆腐がセットになった贅沢な「幸村御膳」をいただきます。

この真田そば、本当に絶品! こに入れた瞬間ふわわりと香ばしいそばの香り、舌触りも良く、とっても美味い!

幸村庵は連日大好評で、お昼時の客席は満員なんだとか。建物も古民家を再利用、お庭の眺めがとってもステキ。九度山町で自慢の本格そばを、ぜひご賞味くださいませ。





九度山町の豊かな景観を愛でながら、町石を辿って聖地高野へと続く道。

今から約1200年前に弘法大師が開創した霊場高野山とその参詣道は、平成16年に「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界遺産に登録されました。九度山町の慈尊院(じそんいん)から高野山の壇上伽藍にある、根本大塔に続く道を「高野山町石道」といい、九度山町はその参詣道のスタート地点。石造りの五輪塔形の町石が、

180町目を発見!
町石道のスタート!



一町(約109メートル)ごとに建てられています。かつて高野巡礼の人々は、この町石のひとつひとつに手を合わせながら、距離にして約22キロメートルを高野まで登ったとか。現在はすっきり道も整備されハイキングにも最適なコースになっています。町石道からの町の景色を楽しみつつ、弘法大師を訪ねてみました。



こちらは、同じく平成16年に世界遺産に登録された慈尊院。弘法大師が、高野山に必要な物資を調達するための政所として創建されました。晩年、大師の母公が移り住み、没後、弥勒堂が建設された由来から、女人禁制の高野に対し、「女人高野」と親しまれるようになりました。その謂われから、慈尊院には子授けや安産、育児、授乳良縁などを願い、乳房型の絵馬を奉納する女性が多く訪れます。

慈尊院お話し(一) 高野山案内犬ゴン



慈尊院のもうひとつのストーリーは高野山案内犬ゴンのお話。今から約20年前、ゴンは誰に教えられたわけでもなく、毎日のように参詣者の道案内をしながら、慈尊院から高野山の大門まで町石道の約20キロメートルを歩いたといえます。ゴンは平成14年に老衰で息を引き取りましたが、境内の弘法大師像の横には今もゴンの石碑が。参拝者に親しまれ、愛された案内犬のゴンは、今でも慈尊院で参拝者の安全を見守っています。

慈尊院お話し(二) 慈尊院に見る“母”



慈尊院に祀られている鬼子母神は自分の子どもを育てるために、何千人という子どもを拐かして食べる鬼神でしたが、お釈迦さまの教えを受けて改心し、子どもを守る優しい母親の神さまになりました。

慈尊院は、信仰の公徳により弘法大師の母公が本尊弥勒菩薩に化身し眠る寺です。弘法大師の母公も鬼子母神も一人の女性であり、母親が自分の子どもを愛する気持ちは、かたちは違っても同じ。慈しみ、愛する心なんだと感じました。



そして、慈尊院から石段をあがると、弘仁7年に弘法大師が創建した、同じく世界遺産の「丹生官省符(にうかんじょうぶ)神社」が鎮座します。古くから高野登山への報告と道中の導きをいたたくため、あやゆる人々がこの神社で祈願し、高野へ登りました。丹生官省符神社の石段は119段、この割り切れない数字は、鎮護国家、家門繁栄を暗示しています。先人たちは、お詣りする人々の将来を強く祈念されたんですね。

「真田のい茶屋」

町内の真田のまちをめぐり、真田のい茶屋という、古民家を再利用した休憩所があります。地元の奥さまたちがボランティアで営むこの茶屋では、うどん、そばやカレーなどの軽食のほか、お土産や特産品の販売も行っています。その奥さまたちが「高野参詣道にいかが?」と、パラエティに「真田のお弁当を考案。慈尊院の安産、育児祈願にちなんだお弁当(上)と、真田家にちなんだ六文銭弁当(下)の2種類。季節によってもメニューは異なりますが、おにぎり、玉子焼きや煮豆、おひたしなど、多様なメニューに目移り。優しくても美味い!お母さんの味でした。このお弁当、観光団体40名さまからのご予約のみ承りますので、真田のい茶屋(090-1590617-68)まで要相談!



九度山が育んだ偉人たち

松山常次郎記念館

九度山町から唯一、衆議院議員となった政治家、松山常次郎氏に関する遺品を展示した記念館。常次郎氏の長女美知子さんが、日本画家の巨匠である常次郎氏のご夫人である縁から、画伯が描いた常次郎氏の絵などを展示しています。古民家を改造した館内は、110坪の広大な空間。松山氏のご親族の方々が館内の案内をしてくださるので、ゆくりとお話をうかがうことができます。開館時間 午前10時～午後4時 休館日 月・火曜日(祝日の場合は開館)翌水曜日(振休) 入館料 200円(小学生100円)団体割引あり



旧萱野家(大石順教尼の記念館)

旧萱野家は、江戸時代中期に高野山真蔵院の里坊として建立され、元々は不動産であった由緒ある建物です。門、主屋および倉の3棟は、町の指定有形文化財に指定されています。西腕をなくし、筆を口にくわえ、書画の世界へと入られた大石順教尼は、尼僧を志し、高野山での出家を目指して旧萱野家へ移り住み、多くの作品を残しています。屏風や像などの貴重な寺宝をはじめ、大石順教尼の作品などが展示され、建物は非常に精美な建築物としても知られています。開館時間 午前10時～午後4時30分 休館日 月・火曜日(祝日の場合は開館)翌水曜日(振休) 入館料 無料



↑大石順教尼のブロンズ像。←大石大石順教尼が過ごされた、美しい庭園が見渡せるステキなお部屋。



順教尼が実際に使用された硯や筆も展示しています。

九度山町「富有柿」の柿づくしメニュー



※写真はイメージです。

柿カレー

町産の富有柿を使ったご当地カレー(レトルト)。お子さまでも食べやすい甘口、柿本来の甘みで一層まろやかに。



柿ドレッシング&柿ほん酢

「プレミアム和歌山」に認定されている1本1本手作りでご用心もった柿ドレッシングと、ほん酢とコラボした柿ぼんドレッシング。いずれも町産の富有柿を使っています。



柿アイス

富有柿の実が入ったアイスは、シャーベットに近い舌触り。洋酒が効いた上品な味わいのご当地アイスです。



ふるさと産品直売所には富有柿の即売はもちろん、このほかにも柿メニューや地元の産品がたくさん!



富有柿(ふゆがき)は、九度山町番の特産品。町内を見渡すと、たくさん柿の色が目に見えます。今回は、海堀さんの農園にお邪魔しました。取材は12月上旬で、収穫時期も終盤。「今年の夏は暑かったから収穫時期は10日ほど遅いんや」と海堀さん。富有柿は、平核無柿(ひらたねなしがき)などの渋柿に比べると、人の手で受粉させたり、品質にこだわって摘み取りたりと作業は大変。そして何より、その大きさにビックリ。普段目にしてる柿がサイズなら、富有柿は3〜4ほどのサイズなんだぞ。

豊かな風土と人が生んだ九度山町の富有柿。



「せっかくなから採って食べてみて、家で食べるのとは全然違うからね」初めての柿狩り体験をさせていただき、さっそくその場でいただきました。糖度が高く、その大きさからは想像できないほど繊細な甘さ。とても美味しー!海堀さんの農園は、柿の木オーナー制のお世話もしていて、収穫や作業がしやすいように整備されています。富有柿を求めて、遠方では北海道から来られる方もいるとか。「美味しーって言われたら、作り甲斐があるんよ」海堀さんの笑顔が印象的。町の豊かな風土に培われた富有柿を、その空気の中、その場でいただくなんて、このうえない贅沢に感じました。柿狩り体験について、詳しくは九度山町役場にお問い合わせを!



前田さん、つまみ食いしても良い?



よござん 食へて食へてよ



「ご家庭によつて味が全然違うんや」と笑う前田さんが教えてくれたお寿司は、ほんのり甘くてとても優しい味でした。

できあがったお寿司を柿の葉で包み、寿司桶に入れてうえから重石で押し、1晩ほど寝かせたら完成!

「ご飯入れる量が案外難しい...」



ありがとうございます! ございました!



「ご飯入れる量が案外難しい...」

町のアチコチに柿を発見!

九度山町の町中は、マンホールも街灯も柿のモチーフで、とっても可愛い!

九度山町の「柿の木オーナー」募集中!

九度山町では、自慢の富有柿のオーナーを募集しています。個人でもグループでも購入は可能。まず柿の木を選んでいただくこと、あとは農家の方がキッチンと育ててくれるので品質は間違いなし!秋になると楽しく柿狩りを体験していただけます。

詳しくは九度山町役場内「九度山町 柿の木オーナー推進会」まで!



美味しい富有柿が自分だけのモノよ!

カヌランしまっつちのオススメSPOT

高野下駅は交換設備を備えた島式1面2線のホームを持つ盛土駅。開業は大正14年というから驚きだ。ホーム西側には昔の貨物ホーム跡が残っている。昔懐かしい木造駅舎。現在の駅ホーム内には、旧駅名看板や、南海の社章や古レール、ローカルマークなどの貴重な資料を展示する「南海思い出ミュージアム」が設けられています。(しまっち)

勝利寺

「紙遊苑」は勝利寺の敷地内にあります。小高い丘のうえにある勝利寺は弘法大師の除障祈願を記したお寺で、その縁起の良い名前からは縁起の良い名前の必勝祈願に参拝する方も多いそうです。

「高野紙」を今も伝える紙遊苑の紙すき体験。

かつて弘法大師が教えたと伝わる高野紙(白紙)。その伝統文化を後生に伝えるためにあります。高野紙の歴史や昔ながらの器具などを展示紹介する資料館、そして実際に紙すきの体験もできます。そのあひと楮が原料で、すき舟を使って漉いていきます。しわにならないように気をつけながら、手首のスナップをうまくいける。これがまた難しい!何回もチャレンジして、やっとかたにできました。ちなみに、町の小学生は自分たちで漉いた紙を卒業証書に使って。



御礼 取材にご協力いただいた方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。